№2019-28　Date 2019･08

検査報告書変更のお知らせ

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、検査の内容を変更させていただくことになりましたので
ご案内申し上げます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

（ 記 ）

【項目名】：フェノバルビタール
フェニトイン
カルバマゼピン
クロバザム
レベチラセタム

【変更日】：2019年10月1日（火）受付分より

【変更内容】

コード	検査項目名	変更箇所	（新）	（現行）
353	フェノバルビタール	有効治療濃度	単位：μ g／mL トラフ値 10．0～40．0	単位：μ g／mL 10．0～40．0（成人） 10．0～20．0（小児）
352	フェニトイン		単位：μ g／mL トラフ値 10．0～20．0（成人・小児） 8．0～15．0（新生児）	単位：μ g／mL 10．0～20．0（成人） 3．0～20．0（小児）
354	カルバマゼピン		単位：μ g／mL トラフ値 4．0～12．0 ※他の抗てんかん薬併用時は 4．0～8．0	単位：μ g／mL 4．0～12．0（成人） 4．0～10．0（小児）
2529	クロバザム		単位：ng／mL トラフ値 クロバザム： 30～300 デスメチルクロバザム： 300～3000	単位：ng／mL 設定なし
2251	レベチラセタム		単位：μ g／mL トラフ値 12．00～46．00	単位：μ g／mL 設定なし

【変更理由】
抗てんかん薬の有効治療濃度につきまして、一般社団法人日本TDM学会の「抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018」記載値に準拠して、変更させていただきます。

【参考文献】
一般社団法人　日本TDM学会：抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018．（金原出版）